

特集1:イクシスLNGプロジェクト

Ichthys LNG Project

日本企業初の巨大LNGプロジェクトの
操業主体(オペレーター)として、
2011年第4四半期に最終投資決定、
2016年第4四半期に生産開始へ。

当社が手がける2つの大型LNGプロジェクトのひとつ「イクシス」—2000年に西オーストラリアの沖合約200kmの海域で、当社が発見した大規模なガス・コンデンセート田です。今後、海上生産施設、約889kmのガスパイプライン、陸上天然ガス液化プラントを建設し、2016年第4四半期に生産を開始する予定です。

生産量(予定)	LNG 年間840万トン LPG 年間160万トン コンデンセート 日量約10万バレル(ピーク時)
最終投資決定(FID)予定	2011年第4四半期
生産開始予定	2016年第4四半期
権益比率	当社 76%、TOTAL 24%
作業状況	開発準備作業中



海上リグにて

イクシスLNGプロジェクトの経緯

当社は、オーストラリア連邦政府の公開入札において、WA-285-P 鉱区(西オーストラリア州キンバリー地区の沖合約200km)の入札に参加し、1998年8月に同鉱区の探鉱権を取得しました。2000年3月から第一次掘削キャンペーンとして試掘井3坑を掘削し、ガス・コンデンセートを発見しました。その後の三次元地震探鉱作業や、2003年から実施した3坑の第二次掘削キャンペーンにてガス・コンデンセートの広がりを確認し、さらに2007年から2坑井を掘削しています。これらの作業によって商業開発に十分なガス・コンデンセートの可採埋蔵量を確認しています。

環境影響調査と地域貢献

当社は、連邦政府、西オーストラリア政府および北部準州政府をはじめとするオーストラリアの関係者やプロジェクト関係者の方々の理解と協力を得ながら、イクシスプロジェクトを予定通り立ち上げるために努力をしています。

環境影響調査について

当社はイクシスプロジェクトの環境への影響に関して、同プロジェクトの海上生産施設、海底パイプライン、および天然ガス液化プラント建設予定地(北部準州のダーウィン近郊)のそれぞれについて、オーストラリア連邦政府および北部準州政府が策定したガイドラインに沿って環境への影響を数年にわたり調査しています。この調査結果等を取りまとめた報告書を2010年4月に両政府に対して提出済みで、同年7月から9月に一般公開(パブリックレビュー)され、天然ガス液化プラントの建設予定地であるダーウィン地域を中心とした様々なステークホルダーから意見が寄せられました。その後2011年6月までに、連邦政府および北部準州

現在は2011年第4四半期の最終投資決定に向けて、基本設計作業、政府許認可の取得、LNGのマーケティング活動、ファイナンスなどを進めています。最終投資決定後、陸上と海上生産施設の詳細設計、機器調達、プラント等の建設を行い、2016年第4四半期に生産開始を予定しています。

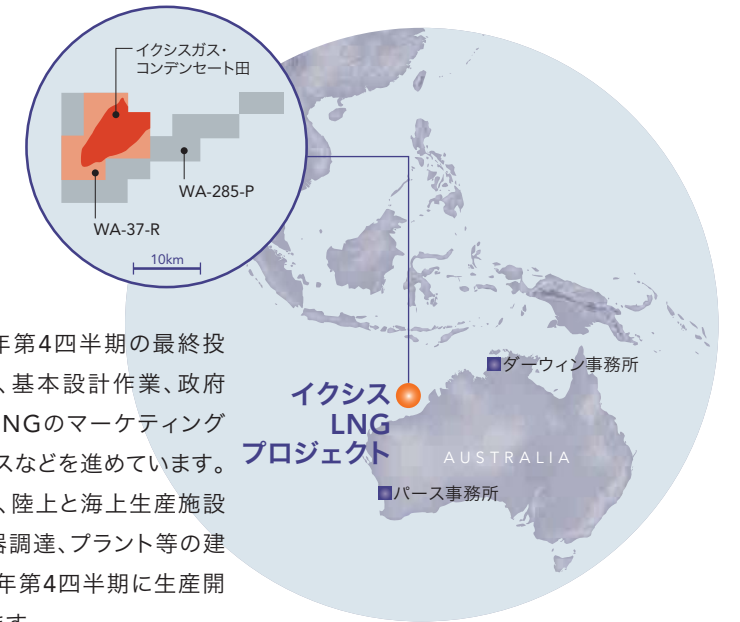
なお、イクシスプロジェクトは、長年にわたりオーストラリア経済の発展に貢献するプロジェクトであるとして2006年8月にオーストラリア連邦産業観光資源大臣により主要促進プロジェクトとして認定されています。

政府のそれぞれの環境担当大臣から環境影響評価報告書に基づきイクシスプロジェクトの実施に対する承認(環境許認可)を得ています。

開発地区への支援活動

イクシスプロジェクトの推進にあたって、地域とのコミュニケーションや先住民の方々との相互理解の構築は大変重要です。当社を信頼される企業市民として認めていただくために、できる限り関係地域の方々とコミュニケーションを深める努力を重ねています。

具体的には、北部準州のダーウィンにおいて、先住民などの青年層に対し職業訓練の場を提供し、就業機会を高めることを目的としたララキア職業訓練校の建設費用として、約200万豪ドルの資金援助を行っています。同校は2011年4月に開校し、現在約300名の生徒が職業訓練を受けています。そのほか、クイーンズランド州の洪水への義援金の提供などを行っています。



「イクシス」という名称は、古代ギリシャ語で「魚」という意味で、鉱区の近隣で古代魚の化石が多く発見されていることに由来します。



環境影響評価報告書(英文)
<http://www.inpex.com.au/>
にてご覧いただけます。



ララキア職業訓練校

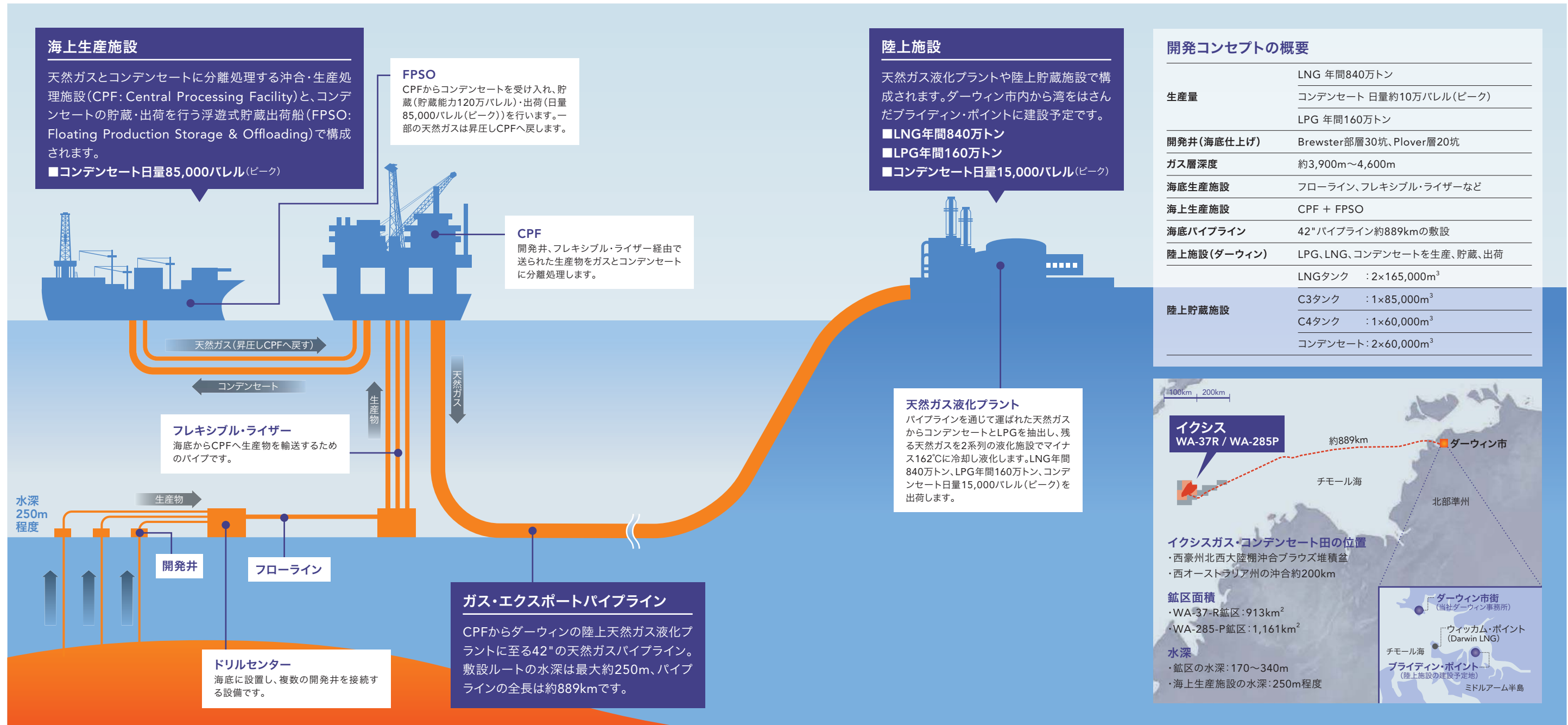


ララキア職業訓練校の生徒と当社黒田会長

特集1:イクシスLNGプロジェクト



開発コンセプトの全体像



プロジェクト経緯

